

目 次

I.	教 育 課 程 に つ い て	2
	カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー・アセスメントポリシー	
II.	単 位	6
III.	成 績 評 価 基 準	6
IV.	服飾学部服飾表現学科カリキュラム表	7
V.	履 修 の 方 法	13
VI.	授 業 計 画	17

I. 教育課程について

(2021 年度生用)

本学の教育課程は、学則第 2 条の目的にそって、構成されています。

教育課程（学則第 25 条）に述べられていますが、授業科目の履修方法を必修科目、選択科目、自由科目に分け、各年次に配当して編成してあります。

授業科目は、その内容により、専門科目、教養科目と教職課程の教職に関する科目、学芸員課程の博物館に関する科目に区分してあります。

本履修便覧 7 頁の服飾学部服飾表現学科カリキュラム表に授業科目の種類、単位数、授業の方法、履修方法、資格取得と履修との関係、配当年次、週時間数等について詳細を掲載してありますので参照してください。

カリキュラムポリシー（教育方針）

本学科の教育の使命と目的を効果的に実現するための教育組織として、1 年次は一部服飾学科と共通のものも含めた学科独自の初年次教育課程を経て、2 年次後期、3、4 年次で 4 つの専攻に分かれた専門教育課程を設けています。初年次教育課程では、教養科目によって一般的教養を養い、服飾関係科目によって感性、技術力、表現力を育成します。その基礎の上に立って、専門教育課程で、創造力・表現力をもった服飾表現に関する専門職業人を養成することを目指しています。

教養科目は、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養することを目的として、キャリア・一般・体育・総合・国際関係・外国語の科目を多数開講し、外国語は 8 単位以上、それ以外の科目で 26 単位以上の履修を要求しています。また 1 年次には初年次科目の「学習基礎」を必修として、大学で 4 年間学ぶためのスキルを修得させています。外国語については 3、4 年次での受講も可能にし、服飾表現業界での必要性に対応しています。

初年次教育課程では、服飾関係科目、服飾経済科目と服飾表現科目の共通必修科目と専門選択科目を設けています。服飾表現科目の共通必修科目の中核科目として服飾表現概論、プレゼンテーション論、グラフィックデザイン I、写真表現、身体表現 I があり、これらを全員に履修を義務付け、服飾表現に関する基礎的な技術や表現方法を全学生が修得することとしています。これが本学科の初年次教育課程の特徴です。

2 年次前期のオムニバス形式の「服飾表現演習」での学修をもとに、2 年次後期の専門教育課程では、「衣装表現」、「スタイリング」、「ビジュアルマーチャンダイジング」、「メディア表現（映像・ショープロデュース）」の 4 つの専攻に分かれます。専攻独自の必修科目は 19 単位を設定しています。各専攻の教育目的と目標を達成するために必要な必修科目を専攻ごとに 3 科目設定しています。初年次教育課程の科目、専門教育課程での選択科目と合わせて専門教育課程で専攻の必修科目を履修することによって、各専攻の目指す専門職業分野の人材育成を可能とする方針のもとにカリキュラムを編成しています。

本学科の履修科目の単位内訳は次の表の通りです。

履修科目単位内訳表

(2021年度生用)

杉野服飾大学 服飾学部 服飾表現学科

授業科目の区分と履修方法			修 得 単 位 数
専 門 科 目	必 修		59
	選択必修		10
	選 択		21
専門科目合計			90 単位
教 養 科 目	初 年 次	必 修	10
	一 般 体 育 国際関係	選 択	16
	外 国 語	選択必修	8
教養科目合計			34 単位
総 合 計			124 単位

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

本学では下記の表に掲げる専門課程の専攻別の教育目的に従って、目標の欄に掲げている服飾表現関係の専門的職業で活躍できる人材の育成を目標としています。

1年間の初年次教育課程の教育を受けますが、その間に一部服飾学科と共通のものも含めた学科独自の内容の19単位を必修科目として履修します。これによって、服飾を物として成立させる技術や服飾経済に関する知識を得た上で、視覚的な感性や表現力を持った服飾表現の専門教育に備えての基礎的な能力を培うこととしています。

2年次後半から4年次までの専門教育課程では、専攻ごとに専門必修科目19単位の履修を求めています。さらに専攻ごとに25単位の専門選択科目の履修を求めています。

以上の専門基礎科目と専門科目を合わせて90単位を履修することで専攻別の教育目的と目標を達成することとしています。

また教養科目34単位の履修によって、社会人としての資質、能力を養い、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養することをめざしています。

教養科目34単位と専門科目90単位の合計124単位を修得することで卒業を認定し、学士（服飾）の学位を授与することとしています。

専門教育課程 専攻別教育目的と目標

専攻名	目的	目標
1) 衣装表現	衣装表現に必要なとされる発想、デザイン・構想、エスキース、制作、プレゼンテーション等の創作のプロセスにウェイトを置いた実践能力の育成を目的とする。	舞台や映画で美しく独創的な衣装を制作する衣装デザイナーなどの人材育成を目標とする。
2) スタイリング	スタイリストの基礎力として、過去から現在までにおける服飾表現の流れ（或いは“流行”）を把握し、社会におけるファッションの役割の上に表現できる能力の育成を目的とする。	TVや雑誌で、モデル、タレント、アーティストの魅力や個性を引き出すスタイリングをするスタイリストなどの人材の育成を目標とする。
3) ビジュアルマーチャンダイジング	魅力的な店舗や展示空間を想定し、視覚的に商品の世界観を伝えることができる能力の育成を目的とする。	ショップやイベント会場で消費者に視覚的に訴える演出を行うVMD(ビジュアルマーチャンダイザー)などの人材の育成を目標とする。
4) ショープロデュース (検討中)	服飾表現における「ショー」に特化し、ステージ形態（舞台）、レイアウト等の造形プラン、音楽、ライティング、映像演出などの空間プラン、モデルのパフォーマンススケジュールなどの時間プランなどを総合したプロデュースとその運営能力の育成を目的とする。	ショーやイベントのコンセプト立案から企画、制作、運営まで観衆を魅了する空間を創るイベントプロデューサーやショースタッフなどの人材の育成を目標とする。
5) 映像・メディア表現	メディアにおける服飾のあり方を考え、視覚情報としてのそのイメージを伝えるために、映像の企画・構想、撮影、編集技術を修得し表現していく能力の育成を目的とする。	TVやネット配信など多彩なメディアでクオリティの高い映像表現を行う映像ディレクター、映像作家などの人材の育成を目標とする。

アセスメントポリシー（学修[教育]成果測定の指標）

1. 初年次教育課程の学修成果測定

- ・初年次教育課程の学修成果は、入学者数と入学後2年目に専門教育課程への進級者比率を指標として行う。
- ・服飾学科はテクノロジー分野とビジネス分野ごとの指標によって行う。
- ・表現学科は4つの専攻によって指標を行う。
- ・初年次前期での中退率を服飾学科、服飾表現学科、服飾文化学科ごとに行う。

2. 服飾学科の各コース、服飾表現学科、服飾文化学科の期待される能力の水準

各学科（服飾学科は各コース、服飾表現学科は各専攻）の期待される能力の水準（学修成果の指標）は、卒業制作、卒業論文にもとめられる能力であり、その具体的な要件は、4年次の卒業制作又は卒業論文の科目が要求している達成度である。

3. 各授業科目の目標達成度（学修成果）

各授業科目の目標達成度はシラバスに記載した到達目標によって測定する。測定の指標は、履修学生の作品提出やプレゼン、小テスト、期末試験、シラバスに記載した準備及び復習学修時間の履行状況（学修行動調査によって別途検証）、授業評価アンケート調査とコメントへの対応とする。

シラバスに記載した到達目標については、服飾学科の各コース、服飾表現学科の各専攻、服飾文化学科の必修科目において期待される能力水準（学修成果測定の指標）との関係が適切か、準備学修時間と合わせて別途シラバス作成時に審査する。

4. 卒業者数による学修成果測定

服飾学部服飾学科、服飾表現学科、服飾文化学科全体としての卒業者数による学習成果の測定は次の指標によって行う。

- ・標準卒業年次4年前入学者数に対する標準卒業年次での卒業者の比率
- 服飾学科の各コース、服飾表現学科の各専攻、服飾文化学科ごとの卒業者数による学修成果の測定は次の指標によって行う。
- ・卒業年次の3年前の服飾学科の各コース、服飾表現学科の各専攻、服飾文化学科の2年次進級者数又は服飾学科、服飾表現学科、服飾文化学科2年次への進級者数に対する標準卒業年次での卒業者の比率

5. 就職者数による学修成果測定

服飾学部全体としての成果測定は次の指標によって行う。

- ・標準卒業年次での卒業者に対する就職者数の比率
 - ・標準卒業年次での卒業者数に対する服飾企業の専門的職業への就職者の比率
 - ・標準卒業年次での卒業者のうち就職希望者に対する就職者数の比率
 - ・標準卒業年次での卒業者のうち就職希望者に対する専門的職業への就職者数の比率
- *専門的職業は服飾学科の各コース、服飾表現学科の各専攻、服飾文化学科での学修成果目標による職種を言う。

Ⅱ. 単 位

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

授業の方法に応じて、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準より単位数を計算するものとします。

平常授業は、前期15週、後期15週、年間30週を原則とします。

時間割表の1時限は正味45分ですがこれを1時間と計算します。従って1コマ（2時限続き）は90分としています。

1. 講義と演習

15時間から30時間までの範囲で大学で定めた時間の授業を1単位とします。

2. 実験、実習及び実技

30時間から45時間までの範囲で大学が定めた時間の授業を1単位とします。

上記は学則第28条の（単位）の条項にそって、授業時間との関連を解説したものです。

Ⅲ. 成績評価基準

学習の評価については学則第32条に述べられていますが、成績評価基準は以下の通りです。

区分	評価	成績評価基準	評価内容
合格	S	100～90点	特に優れた成績
	A	89～80点	優れた成績
	B	79～70点	妥当と認められる成績
	C	69～60点	合格と認められる最低限の成績
	合	—	合格と認められる成績
不合格	D	59点以下	合格と認められる最低限の成績に達していない

◆GPA(グレートポイント・アベレージ)制度

履修した科目の成績の平均を数値で表したものです。成績評価をS→4、A→3、B→2、C→1、D→0と点数に置換えて算出するのがGPAです。

$$GPA = (\text{科目の点数} \times \text{科目の単位数}) \text{の総和} \div \text{履修した科目の総単位数}$$

IV. 服飾学部服飾表現学科カリキュラム表

(2021年度生)大-1

専 門 科 目	授業科目名	単位数			履修方法			資格 取得を 目的と するもの	配 当 年 次	週時間数				
		講	演	実 験 実 習	必 修	選 択	自 由			目 録 黒 キ ャ ン パ ス	日 野 キ ャ ン パ ス	学 芸 員 課	前	後
													義	習
服飾造形基礎Ⅰ			3		○			○			1	6		
服飾表現概論	1				○			○			1	1		
色彩演習	2				○			○			1	2		
衣服材料学	2				○			○			1	2		
ドローイングⅠa			2		○			○			1	4		
西洋服飾文化史	2				○			○			1	2		
服飾造形基礎Ⅱ			3		○			○			1		6	
グラフィックデザインⅠ			1		○			○			1		2	
身体表現Ⅰー基本の動きー			1		○			○			1		2	
写真表現			1		○			○			1		2	
ファッション・フィールド・リサーチ			1		○			○			1		2	
プレゼンテーション論	2				○			○			1		2	
現代ファッション論	2				○			○			2	2		
日本服飾文化史	2				○			○			2	2		
表現心理学ー魅力の発見、魅力の伝達ー	2				○			○			2	2		
身体表現Ⅱーパフォーマンスー			1		○			○			2	2		
空間構成Ⅰ			1		○			○			2	2		
画像表現			1		○			○			2	2		
ドローイング・構想			1		○			○			2	2		
グラフィックデザインⅡ			1		○			○			2	2		
服飾表現演習			2		○			○			2	4		
色材演習			1		○			○			2		2	
服飾表現史	2				○			○			2		2	
空間構成Ⅱ			2		○			○			2		4	
立体造形構想			1		○			○			2		2	
近代日本モード史			2		○			○			2		2	
マーケティング・データサイエンス論	2				○						2	2又	は2	
マネキン学	2				○			○			3	2		
プレゼンテーション技法			2		○			○			3	4		
ポートフォリオ演習			2		○			○			3	4		
卒業制作企画			3		○			○			4	6		
卒業制作			6		○			○			4		12	
計		21	38	0										
専門科目(服飾関係)必修科目については、59単位を修得すること														
衣装デザイン・制作Ⅰ			2	(○)				○			2		6	
スタイリング演習Ⅰ			2	(○)				○			2		4	
ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅰ			2	(○)				○			2		4	
ショープロデュースⅠ			2	(○)				○			2		4	
映像・メディア表現Ⅰ			2	(○)				○			2		4	
衣装デザイン・制作Ⅱ			2	(○)				○			3	6		
スタイリング演習Ⅱ			2	(○)				○			3	4		
ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅱ			2	(○)				○			3	4		
ショープロデュースⅡ			2	(○)				○			3	4		
映像・メディア表現Ⅱ			2	(○)				○			3	4		
衣装デザイン・制作Ⅲ			6	(○)				○			3		12	
スタイリング演習Ⅲ			6	(○)				○			3		12	
ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅲ			6	(○)				○			3		12	
ショープロデュースⅢ			6	(○)				○			3		12	
映像・メディア表現Ⅲ			6	(○)				○			3		12	
専門選択必修合計	0	46	4											
専門科目(服飾関係)選択必修科目については、10単位を修得すること														

専門科	授業科目名	単位数			履修方法			目録	日野	資格取得を目的とするもの	配当年	週時間数		備考	
		講義	演習	実習	必	選	自					学	期		後
専門科	流通・商業入門	2				○	○				1	2			
	ファッションビジネス概論	2				○	○				1	2			
	ファッション画Ⅰ		1			○	○				1	2			
	ファッション画Ⅱ		1			○	○				1		2		
	経営学入門	2				○	○				1	2又	は2		
	服飾造形応用		2			○	○				1		4		
	現代デザイン論	2				○	○		○		1	2又	は2		
	ファッション販売論	2				○	○				1	2又	は2		
	流行論	2				○	○				1	2又	は2		
	アパレル素材論	2				○	○				2	2又	は2		
	画像設計演習		1			○	○				2	2又	は2		
	ドローイングⅡ			1		○	○				2	3又	は3	原則としてドローイングⅠ修得者のみ履修可	
	和服構成論・実習Ⅰ			1		○	○				2	3			
	和服構成論・実習Ⅱ			1		○	○				2		3		
	衣服管理	2				○	○				2	2又	は2		
	染色化学	2				○	○				2		2		
	繊維ファッション産業構造論	2				○	○				2	2又	は2		
	ファッション史	2				○	○				2	2又	は2		
	インターンシップ			2		○	○				2・3		集中90h 又は集中		
	色彩論	1				○	○				2		1	2022年度新規開講	
	服飾手芸(ニットを含む)			1		○	○				3	3又	は3		
	リテールマーチャンダイジング	2				○	○				3	2			
	ショップディスプレイ	2				○	○				3	2又	は2		
	服飾クラフト			1		○	○				3	3又	は3		
	アパレル産業論特講	2				○	○				3	2又	は2		
	民族衣裳論	2				○	○				3	2又	は2		
	染織史	2				○	○		○		3	2			
	ファッションプレゼンテーション演習		2			○	○		○		3	4			
	ライフスタイル関係	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む)	2				○	○			2	2			
		家庭電気・機械	1				○	○			2	1			
		食物学(実践栄養学)	2				○	○			2		2		
		家庭情報処理	1				○	○			2		1		
食物学(食品学)		2				○	○			3	2				
住居学(製図を含む)		2				○	○			3		2			
保育学(実習及び家庭看護を含む)		2				○	○			3		2			
食文化論		2				○	○			3	2				
食物学(調理実習・実験)Ⅰ				1		○	○			3	3				
食物学(調理実習・実験)Ⅱ				1		○	○			3		3			
専門選択小計	47	7	9												
専門科目小計	68	91	13												
専門科目合計	172														
専門科目の選択科目については上記のうちから卒業要件単位として 25 単位以上を修得すること。															

教	授業科目名	単位数			履修方法			資格取得を目的とするもの	配当年	週時間数		備考			
		講	演	実	必	選	自			目	日		野	学	
															義
初	学修基礎	2			○			○				1	2		
	文章表現	2			○			○				1	2		
キ	情報演習Ⅰ(学修ポートフォリオを含む)	1	1		○			○				1	2		
	情報演習Ⅱ(学修ポートフォリオを含む)	1	1		○			○				1		2	
	キャリアプランニング	2			○			○				2	2		
	キャリアプランニング	2			○			○				2	2		
一	社会人基礎A	2						○				1	2		
	社会人基礎B	2						○				1		2	
	心理学A	2						○				1・2	2		
	心理学B	2						○				1・2		2	
	文学	2						○				1	2又	は2	
	日本美術史	2						○			○	1	2又	は2	
	西洋美術史	2						○			○	1	2又	は2	
	憲法	2						○				1・2	2又	は2	
	社会福祉学A	2						○				1・2	2		
	社会福祉学B	2						○				1・2		2	
	化学A	2						○				1・2	2		
	化学B	2						○				1・2		2	
	体	体育A		1					○				1	2又	は2
体育B			1					○				1・2		2	
科	言語と服飾文化	2						○				3・4	2又	は2	
	日本文化・日本事情Ⅰ	2						○				1・3	2		外国人留学生は履修のこと 2022年名称変更
	日本文化・日本事情Ⅱ	2						○				1・3		2	外国人留学生は履修のこと 2022年新規開講
	英語(総合)A	2						○				2	2		
	英語(総合)B	2						○				2		2	
	ワールド・カルチャーA	2						○				2	2		
	ワールド・カルチャーB	2						○				2		2	
	実用英語 A	2						○				2	2		
	実用英語 B	2						○				2		2	
	ファッション英語 A	2						○				2	2		
	ファッション英語 B	2						○				2		2	
	フランス語(総合)A	2						○				2	2		
	フランス語(総合)B	2						○				2		2	
	ファッションフランス語 A	2						○				2	2		
	ファッションフランス語 B	2						○				2		2	
	中国語(総合)A	2						○				2	2		
	中国語(総合)B	2						○				2		2	
中国語(会話)A	2						○				2	2			
中国語(会話)B	2						○				2		2		

授業科目名	単位数			履修方法			資格取得を目的とするもの	配当	週時間数		備考			
	講	演	実	必	選	自			目	日		野	芸	
														義
英語(総合)Ⅰ	2				○		○					1	2	
英語(総合)Ⅱ	2				○		○					1	2	
基礎英会話Ⅰ	2				○		○					1	2	
基礎英会話Ⅱ	2				○		○					1	2	
フランス語(総合)Ⅰ	2				○		○					1	2	
フランス語(総合)Ⅱ	2				○		○					1	2	
フランス語(会話)Ⅰ	2				○		○					1	2	
フランス語(会話)Ⅱ	2				○		○					1	2	
中国語(総合)Ⅰ	2				○		○					1	2	
中国語(総合)Ⅱ	2				○		○					1	2	
中国語(会話)Ⅰ	2				○		○					1	2	
中国語(会話)Ⅱ	2				○		○					1	2	
日本語Ⅰ	4				○		○					1・3	4	*外国人留学生は下記の欄を参照
日本語Ⅱ	4				○		○					1・3	4	*外国人留学生は下記の欄を参照
教養科目小計	102	4	0											
教養科目総合計		108												

服飾表現学科「専攻」、「インターンシップ」に関して

■「専攻」に関して

服飾表現に関する豊かな知識・技術を修得して、服飾表現の専門職業人として活躍できる能力の育成のために、以下のように専攻科目を履修することとする。
 1)一つを選んで「主専攻」とする。
 2)主専攻科目以外の専攻科目の履修による単位取得を可能とする。

■「インターンシップ」に関して

服飾表現に関する豊かな知識・技術を修得して、服飾表現の専門職業人として活躍できる能力の育成のためには、実際の職場における体験でなければ得られないことが多い。それを実践するためには「長期インターンシップ」が不可欠である。
 専攻科目の授業の一環として、以下のように「長期インターンシップ」を実施する。
 ・「長期インターンシップ」は単位化する。
 ・実施は「3年次前期」から「4年次前期」までの期間内とする。
 ・上記期間中に「集中」若しくは「分割」して実施する。

※「長期インターンシップ」に関連する科目

3年前期

- ・「衣装デザイン・制作Ⅱ(長期インターンシップを含む)」(3年前期、実験実習2単位)
- ・「スタイリング演習Ⅱ(長期インターンシップを含む)」(3年前期、演習2単位)
- ・「ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅱ(長期インターンシップを含む)」(3年前期、演習2単位)
- ・「ショープロデュースⅡ(長期インターンシップを含む)」(3年前期、演習2単位)
- ・「映像・メディア表現Ⅱ(長期インターンシップを含む)」(3年前期、演習2単位)

3年後期

- ・「衣装デザイン・制作Ⅲ(長期インターンシップを含む)」(3年後期、演習6単位)
- ・「スタイリング演習Ⅲ(長期インターンシップを含む)」(3年後期、演習6単位)
- ・「ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅲ(長期インターンシップを含む)」(3年後期、演習6単位)
- ・「ショープロデュースⅢ(長期インターンシップを含む)」(3年後期、演習6単位)
- ・「映像・メディア表現Ⅲ(長期インターンシップを含む)」(3年前期、演習6単位)

4年前期

- ・「衣装デザイン・制作卒業制作企画(長期インターンシップを含む)」(4年前期、演習3単位)
- ・「スタイリング卒業制作企画(長期インターンシップを含む)」(4年後期、演習3単位)
- ・「ビジュアルマーチャンダイジング卒業制作企画(長期インターンシップを含む)」(4年後期、演習3単位)
- ・「ショープロデュース卒業制作企画(長期インターンシップを含む)」(4年後期、演習3単位)
- ・「映像・メディア表現卒業制作企画(長期インターンシップを含む)」(4年前期、演習3単位)

・教養科目については初年次の「学修基礎」2単位(必修)と、キャリアの「文章表現」「情報演習Ⅰ」「情報演習Ⅱ」「キャリアプランニング」8単位(必修)と、

一般・体育・総合・国際関係より16単位以上を修得すること。

・外国語は、英語・フランス語・中国語のいずれかⅠ～Ⅱまで8単位を修得すること。(母国語を除く)

*外国人留学生全員(編入生を含む)に対し、「学内日本語実力テスト」を実施し、その結果に応じて履修指導を行う。

具体的には実力テストの結果に応じて①「日本語Ⅰ(4単位)」「日本語Ⅱ(4単位)」を履修する

②「日本文化・日本事情(2単位)」は教養科目として留学生は履修する。

但し、実力試験の結果、「日本語」を履修する必要のない者も「日本語Ⅰ(4単位)」「日本語Ⅱ(4単位)」を履修することができる。

学芸員課程履修者は学芸員課程の欄の○印の科目の単位を修得すること。

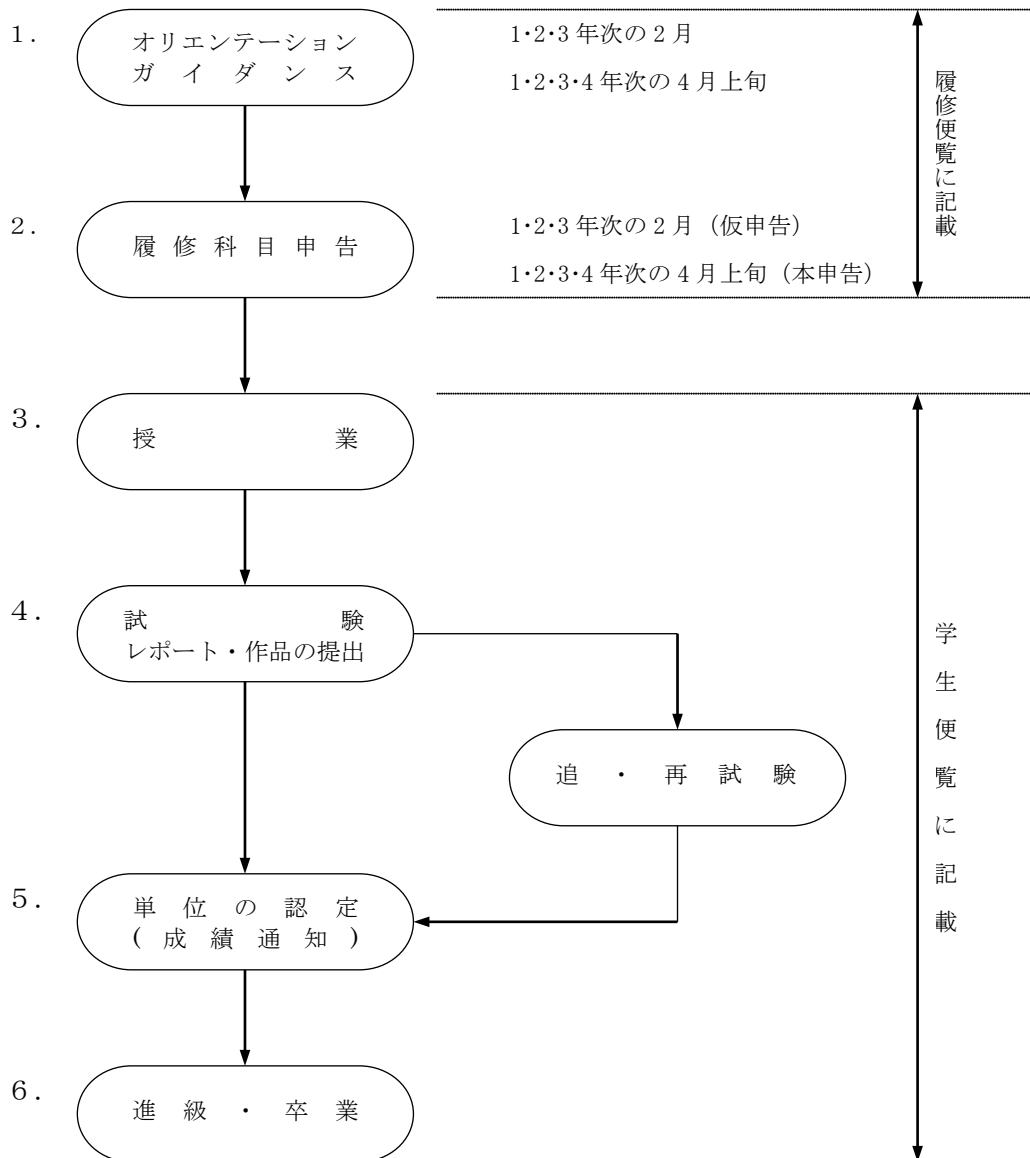
授業科目名	単位数			履修方法			目 黒 キ ヤ ン パ ス	日 野 キ ヤ ン パ ス	資格 取得を 目的と するもの 学 芸 員 課 程	配 当 年 次	週時間数		備 考
	講	演	実 験 実 習	必 修	選 択	自 由					前 期	後 期	
博 物 館 に 関 す る 科 目	生涯学習概論	2					○		○	1		2	
	博物館概論	2					○		○	1		2	
	博物館経営論	2					○		○	2	2		
	博物館資料論	2					○		○	2	2		
	博物館資料保存論	2					○		○	2		2	
	博物館展示論	2					○		○	3		2	
	博物館教育論	2					○		○	3	2		
	博物館情報・メディア論	2					○		○	3		2	
	博物館実習			3				○	○	4	3	3及 集中	博物館概論修得者のみ履修可 博物館見学
計	16		3										
学芸員課程履修者は、博物館に関する科目19単位を修得すること。													
<p>カリキュラムは、授業科目の段階的履修や体系的な履修を考慮して編成してあります。従って再履修の必要がある場合の履修順序は、下記の通りとします。</p> <p>1) 原則として開講学年順とします。</p> <p>2) 個々の履修状況に応じて審議決定します。</p> <p>(注) 各科目の配当年次及び開講学期は都合により変更になることがあります。</p>													

V. 履修の方法（履修科目申告から単位認定まで）

大学での学修生活は、自らが履修しようとする授業科目の履修申告からはじまり、学修結果の評価により単位認定がなされることで終わると言ってもいいでしょう。

このパターンが4年間各年度始めに展開されるわけですが、これを図示すると次の通りとなります。

以下の順序に従ってその内容・手続きについて解説します。



1. オリエンテーション・ガイダンス

履修ガイダンスやその他学修生活を送る上での必要な事項についてのオリエンテーションが各年度当初の4月に実施されます。(2年次以上は前年度の2月にも次年度オリエンテーションを実施)

履修計画を立てる上で極めて重要なものですので、出席を義務づけております。

2. 履修科目申告

開講科目を履修するには、必ず事前に履修申告をしなければなりません。この履修申告は在学中に各年度学期の開始時に実施されます。この履修申告に際して、学生は事後一か年の学習計画を立て、履修することにより名簿・成績原簿等を作成されます。従って卒業要件単位修得等に重要な手続きですから下記事項を熟読し、あやまりのないようにしてください。

1) 《履修申告にあたっての注意事項》

- ① 同一時限には1科目しか申告できません。すなわち重複受講(申告)は禁止されています。
- ② 申告した科目以外は試験(レポート、作品等の提出を含む)を受験できません。万一受験しても単位は与えられません。
- ③ 一度本申告したものの追加、変更は原則として認められません。
- ④ 申告期限を過ぎたものは受け付けませんので、必ず期日を厳守しなければなりません。
- ⑤ 2・3・4年次は各々過年度開講の科目を申告することができますが、上級年次の開講科目を申告することはできません。

2) 《年間履修単位制限(CAP 制度)》

本学では、各学年で年間に履修できる単位数に上限を定めます。これを「キャップ制度」と言います。学修すべき授業科目を精選することで十分な学修時間を確保し、授業内容を深く身につけることを目的とします。学生の皆さんは、履修科目として1年間に登録することができる単位数の上限を定めることで、適切にバランスよく授業科目を履修することが出来る制度です。大学は、各学年年間 50 単位 です。

※資格関係科目(教職課程、学芸員課程など卒業要件単位に含まれない科目)は履修制限科目から除外されます。

3) 《履修申告の方法》

履修申告は「[学生ポータル](#)」に登録することにより行います。履修の登録はすべてコンピュータ入力します。

定められた入力期間内に入力します。入力期間内であれば削除・追加が可能です。

ただし、入力期間内であっても、必修科目、外国語科目及びコース別必修科目のキャンセルは、原則として認めません。

① 1年次の年度始め

1年次前期に受講する科目をすべて申告してください。

② 1・2・3年次の年度末(次年度の受講予定科目の申告のための準備)

これまでの履修状況に応じて、次年度における受講科目の計画をたててください。

③ 2・3・4年次の年度始め(2年次以降の受講科目を入力)

※ 一部の科目については、人数調整をする場合があります。

④ 1・2・3・4年次 後期開始前(9月上旬)

後期開講科目について、申告入力期間に入力してください。

4) 《履修科目申告上の注意事項》

下記の注意事項をよく読んで誤りのないよう記入してください。

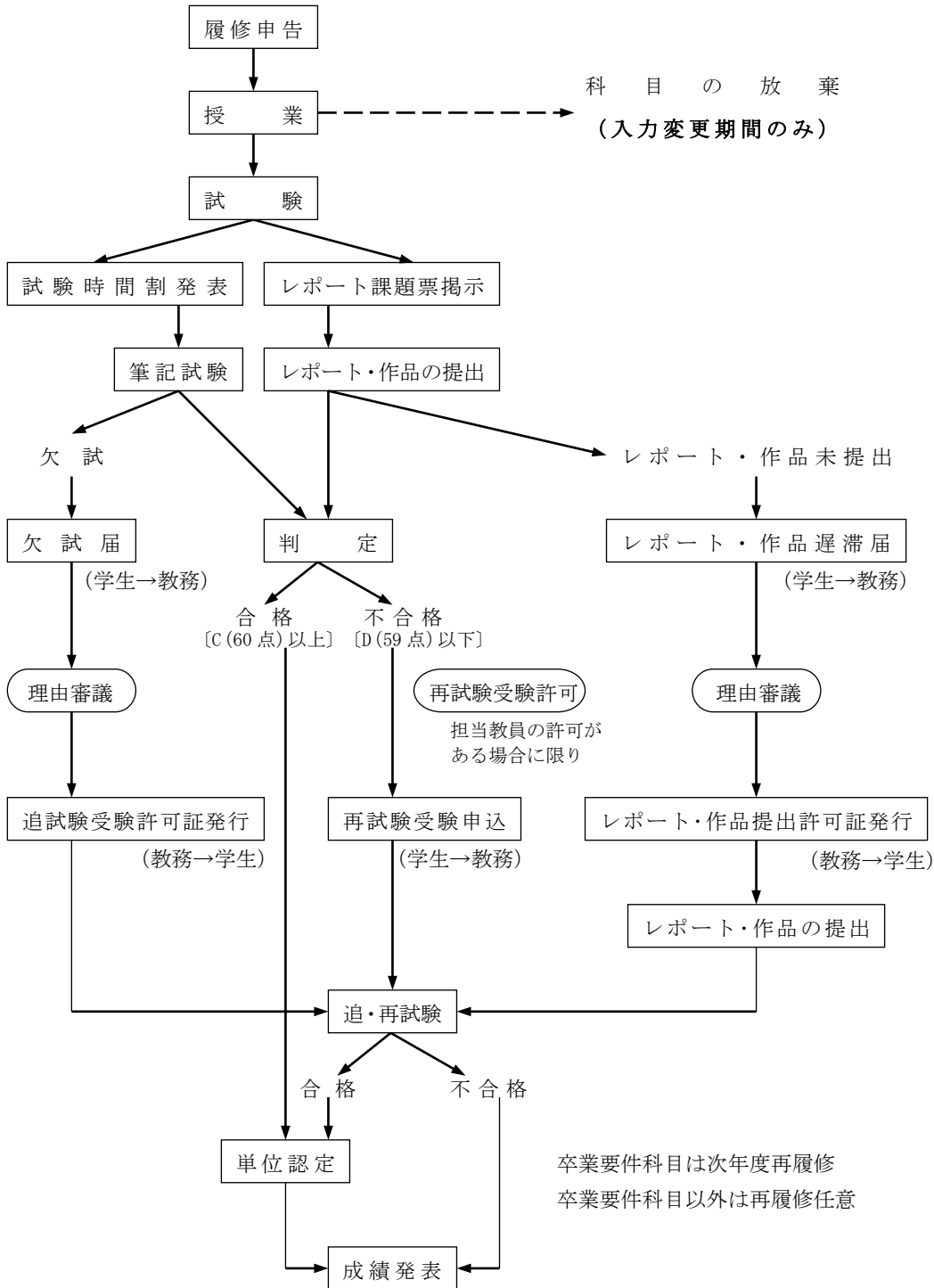
◆入力について

1. 履修科目を確認して入力してください。
2. 教職課程・学芸員課程を履修する場合は、課程科目も入力してください。
3. 自主ゼミの受講希望者は教務課に申し出てください。
4. 履修単位の表の数字を確認してください。
5. 他学年開講科目(再履修科目等)は各自検索をして入力してください。

《履修科目の放棄について》

- ① 学期初めに本申告をした科目は、一定の入力申告変更期間を設けているため、学期途中で放棄することはできません。 キャンセルをしないまま欠席すると当該科目の成績は不合格となります。
また、集中授業の科目については定められた期間に限り放棄を認めます。

履修科目申告から単位認定まで



VI. 授業計画

【整理番号】

- 【1】 卒業制作企画(衣装デザイン・制作)
- 【1】 卒業制作企画(スタイリング)
- 【1】 卒業制作企画(ビジュアルマーチャンダイジング)
- 【1】 卒業制作企画(メディア表現〈映像・ショープロデュース〉)
- 【2】 卒業制作(衣装デザイン・制作)
- 【2】 卒業制作(スタイリング)
- 【2】 卒業制作(ビジュアルマーチャンダイジング)
- 【2】 卒業制作(メディア表現〈映像・ショープロデュース〉)
- 【3】 言語と服飾文化

■学芸員■

- 【4】 博物館実習

<2024年度未開講>

卒業制作企画(ショープロデュース)

卒業制作(ショープロデュース)

卒業制作企画(衣装デザイン・制作)

大町 志津子・瀧川 美佐子

4年 前期 選択 (3単位 演習)

■授業の方針・概要

卒業制作に向けて、担当教員の欧米におけるオペラ、バレエ、映画等の衣装デザイナーのキャリアを活かした実践的なデザイン指導や、アパレルメーカーでのモデリスト、パタンナーとしての実務経験に基づく技術指導を元にこれまでの学修成果を踏まえ各自の研究対象を見定め衣装表現におけるより高度な知識、技術、感性を修得する。

■到達目標（学修成果）

テーマやデザインを研究する事で衣装表現者としての資質を得る事ができ、卒業制作において例えばスタジオでのライティング、背景の美術、ヘアメイク、スタイリングなどの考察を深め、撮影を行い、独創的で説得力のあるトータルイメージを構築した衣装を表現できる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目です。服飾表現学科の衣装デザイン専攻の学生にとって必修であり、衣装表現者としての表現方法を学ぶ科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	大町、瀧川：卒業制作に向けてのオリエンテーション 各自の研究テーマの検討	予習：研究テーマの検討 復習：構想1の準備	60分
2回	大町：構想1 1回目個別デザイン相談(人物像考察レポート、デザイン画) 瀧川：制作1 パターン1	予習：構想1・制作1に向けての準備 復習：構想1・制作2を進める	60分
3回	大町：構想2 2回目個別デザイン相談（生地・服飾素材なども含む） 瀧川：制作2 パターン2	予習：構想2・制作2に向けての準備 復習：構想2・制作2を進める	60分
4回	大町：構想3 人物考察に基づいたイメージづくり1 瀧川：制作3 トワル制作	予習：構想3・制作3に向けての準備 復習：構想3・制作3を進める	60分
5回	大町：構想4 人物考察に基づいたイメージづくり2 瀧川：制作4 トワル仮縫い・補正	予習：構想4・制作4に向けての準備 復習：構想4・制作4を進める	60分
6回	大町：構想5 空間の中での衣装の認識・スタジオ演習 瀧川：制作5 実物仮縫い	予習：構想5・制作5に向けての準備 復習：構想5・制作5を進める	60分
7回	大町：構想6 構想5を踏まえたフィードバック 瀧川：制作6 縫製1	予習：構想6・制作6に向けての準備 復習：構想6・制作6を進める	60分
8回	大町、瀧川：ディスカッション・プレゼンテーション	予習：プレゼンテーションの準備 復習：考察	60分
9回	大町：構想7 トータルイメージに向けての考察1 瀧川：制作7 縫製2	予習：構想7・制作7に向けての準備 復習：構想7・制作7を進める	60分
10回	大町：構想8 トータルイメージに向けての考察2 瀧川：制作8 縫製3	予習：構想8・制作8に向けての準備 復習：構想8・制作8を進める	60分
11回	大町、瀧川：ディスカッション・プレゼンテーション、撮影企画書提出 ポートフォリオ作成における研究倫理について	予習：撮影の企画書作成 復習：考察	60分
12回	大町：トータルイメージの完成に向けての総合チェック 瀧川：制作9 縫製（修正）	予習：企画書考察 復習：トータルイメージを深める	60分
13回	大町、瀧川：各自モデルのメイクやヘアスタイルを整え衣装を着装させ撮影する。 「カメラワーク・照明・背景」で衣装のトータルイメージを最終的に完成させる。	予習：トータルイメージを深める 復習：ポートフォリオ作成	60分
14回	大町、瀧川：合同講評会：後期「卒業制作」へ向けた中間プレゼンテーション（5専攻全学生と担当教員による専攻を横断したディスカッション・フィードバック）ポートフォリオ提出	予習：合同講評会に向けての準備をする 復習：プレゼンテーションの準備	60分
15回	大町、瀧川：プレゼンテーション・ディスカッション・講評	予習：プレゼンテーションの準備	60分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題作品・プレゼンテーションに対して随時講評を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	30%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

必要に応じて資料を配布する。

■参考文献

Patterns of Fashion Janet Arnold 著 Women's Dress Patterns Susan North and Jenny Tirana 著

■オフィスアワー・研究室

日野校舎 B202 衣装表現研究室 オフィスアワー：第1回目の授業で指示する。

■備考

進度により日程及び内容を変更する場合もある。 感性を磨きより広い視野を持つ事を各自心がける。

卒業制作企画(スタイリング)

中村 のん・数井 靖子

4年 前期 選択 (3単位 演習)

■授業の方針・概要

スタイリストの仕事は、時代をいち早く読み取り、それをファッションに反映させ、ビジュアルを通して発信していくことが常に求められます。2年で学んだ時代や社会とファッションの関連性、3年で学んだ「人を魅力的に見せるフォトジェニックなスタイリング」を踏まえた上で、現在注目されているリユース、リサイクルの発想も取り入れ、「リユース、リメイクによるファンタスティックな世界」をテーマとして衣装制作とスタイリングを行い、3年で学んだ写真世界の知識を生かして撮影を行い、最終的にポスター制作を行います。また、ファッションに関連する個人的に興味のあるテーマを深掘りする形で年間かけて研究ノートを作成します。

■到達目標(学修成果)

2年、3年で学んだ知識の集大成として、「自分ならではの」個性を發揮した「ファンタスティックな世界」を作り上げることで社会に出てゆくまでの自信に繋がります。また、言葉と作品を通して堂々とプレゼンできる自信と能力を身につけます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科のスタイリング専攻において卒業認定に必要な必修科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回	【中村】卒業作品テーマ「リユース、リメイクによるファンタスティックな世界」についてのオリエンテーション	予習：春休みの課題の環境問題を扱った書籍を読んで感想をまとめる(提出) 復習：テーマに沿った内容の方向性を検討	90分
2回	【中村・数井】アパレル業界が抱えている環境問題に関する参考の映像、書籍を元に「リユース、リメイクの役割」についての講義とディスカッション	復習：感想レポート	90分
3回	【中村・数井】担当教員の実務経験を踏まえた指導の下、「フォトジェニックな服とは」「インパクトのあるスタイリングとは」について資料を元に講義。研究ノートのテーマについての講義。	復習：講義を元に、自分なりの資料集め	90分
4回	【中村・数井】各自の集めた資料チェック。衣装制作のイメージを元に、演習として「リメイクによるファンタスティックなバッグ」を制作するにあたってのオリエンテーション	復習：デザインを考える	90分
5回	【数井】リメイクバッグのデザイン画提出。チェックと指導 バッグ制作開始	準備：素材集め 復習：バッグ制作	90分
6回	【数井】リメイクバッグ制作。スキルアップを目指した指導	準備：素材集め 復習：バッグ制作	90分
7回	【中村・数井】リメイクバッグ制作。担当教員の実務経験を踏まえた指導の下、「バッグに合わせたスタイリング」のチェック	予習：提出に向けての作業 準備：撮影衣装のスタイリング	90分
8回	【中村・数井】リメイクバッグ提出。「バッグに合わせたスタイリング」のスタジオ撮影。	準備：撮影衣装のスタイリング 復習：写真セレクト 写真プリント	90分
9回	【中村・数井】撮影した写真の講評。衣装のデザイン画チェック	予習：素材集め	90分
10回	【中村・数井】「研究ノート」の企画提出とフィードバック 引き続きデザイン画制作	予習：「研究ノート」の案を考える 素材集め	90分
11回	【数井】ブラッシュアップされたデザイン画をさらにチェック	予習：復習：デザイン画作成	180分
12回	【中村・数井】決定したデザイン画を元に制作するにあたって個々への指導	準備：素材集め	90分
13回	【数井】「合同講評会」に向けたプレゼンテーションの練習、及び担当教員によるフィードバック	予習：プレゼンに向けた原稿作成	90分
14回	【中村・角倉・他】「合同講評会」 後期「卒業制作」へ向けた中間プレゼンテーション(5専攻全学生と担当教員による専攻を横断したディスカッション・フィードバック)	準備：プレゼン資料作成	90分
15回	【中村・数井】「合同講評会」での結果を踏まえた上で、作品の方向性・企画内容の検討	授業外でも制作を進める	90分

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

レポート・感想文等は翌週返却する。課題・作品は、返却時にフィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書 授業内容に合わせて授業担当者がプリントを作成して配布。学生は一冊のファイルにまとめる。

■参考文献

必要に応じて授業時に指示。授業担当者所蔵の写真集、書籍等を研究室に保管して、必要に応じて使用。

授業時に使用する映画のDVDや書籍に関して、図書館から借りる、購入する、レンタルする等に関しては、事前にタイトルを伝え準備する。学生に購入を求める場合もあります。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：授業初日に伝えます 研究室：日野校舎 B203

■備考 リサーチやフィールドワークの内容により学外に出ることもあります。授業内容と関連のあるプロをゲストとして招く可能性もあります。学生が準備する備品に関しては、授業時に告知します。進展により、日程及び内容を変更する場合があります。

卒業制作企画(ビジュアルマーチャンダイジング)

中島 ゆう子

4年 前期 選択 (3単位 演習)

■授業の方針・概要

リアル店舗のウィンドウディスプレイを想定し、実物大のウィンドウ作りを卒業制作とする準備期間。地球を含め環境に対するメッセージ、その他、学生が目指すテーマを各自が設定する。スケジュール管理、予算設定など実務として必要な業務をあらかじめ設定できる計画性を持つことを身につける。季節感、投入時を決定し、テーマに続くストーリー性を考える。展開アイテム、カラー、コーディネートなど売り場を含めオンライン販売などに向けて役立つ人材をつくる。

服飾表現学科合同卒業企画プレゼンテーションの実施により、学生による表現力を高める。授業担当者のファッション・プロデューサーとしての実務にも触れながら授業を実施します。

■到達目標(学修成果)

売上げをアップさせる話題性、フェア催事、セール開催の仕方、新しい売り場の取り組み方など売り場運営に必要な技術を修得することができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科「ビジュアルマーチャンダイジング」専攻の必修科目で卒業認定単位となる。ビジュアルマーチャンダイジングに必要な技術を修得し、実際に役立つ教科科目として必要なことは全て習得する。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回	海外VMDを参考に卒業制作の計画書を作成。VMDの考え方、SDGsなど環境と関連性を追求。ストーリーを含め、学生が必要と考えるテーマを構築する。 *写真やビデオで記録を残す。	予習：海外のVMDの方向性を事前チェック	45分
2回	卒業制作に係わるスケジュール管理、予算、準備用品のミーティング実施。フローチャートを作成。	復習：大まかなVMDストーリーを構築する。	45分
3回	季節感、投入時決定。ファッションテーマ、ストーリー性を考える。展開アイテム、カラー、コーディネートの決定。	復習：カラー展開。イメージを考える	45分
4回	計画書作成。卒業制作のストーリー、テイストのディスカッションし修正を重ねる。	復習：計画書の完成度を高める	45分
5回	マネキンの着せ方、棚置き仕方、9ボックス、マネキンを使い演習する。*什器、マネキン使用。	予習：3Dコラージュに必要な物を用意する。	45分
6回	3Dイメージコラージュの作成。 アイデアを駆使して新作コラージュを作成	復習：3Dコラージュに必要なアイテムを制作。	45分
7回	3Dイメージコラージュの作成、及び提出。 先週に引き続き、プロ意識でコラージュを作成する。	予習：VMDストーリーを作るにあたり事前調査の実施	45分
8回	VMDストーリー、研究ノート作成①世界に通用するSDGsなどを基本にする。学生が作るブランドからのメッセージ性を伴った研究ノートを作る。	予習：図書館、PCを駆使し、地球環境などを調べ上げる。	45分
9回	VMDストーリー、研究ノート作成②。 話題性のある事項を研究し、各自で研究課題を構築する。	予習：図書館、PCを駆使し、地球環境などを調べ上げる。	45分
10回	VMDストーリー、研究ノート作成③ 研究ノート提出。	復習：VMDストーリーを完成させる。	45分
11回	スケジュールの確認。購入商品の確認。レンタル商品のチェックなど事前チェック実施。	予習：レンタル商品など必要なアイテムを調べる。	45分
12回	作成するVMD小物の作り方、手法などを検討する。 素材は何か、現実的に可能なのか作成手法の研究。	復習：現実的に作成可能な手法を考える。	45分
13回	プレゼンテーションに向けた資料制作、及びプレゼンテーションの練習。	復習：プレゼン準備	45分
14回	服飾表現学科合同卒業企画プレゼンテーション実施。 学科専任教師からの講評	復習：プレゼンでフィードバックした箇所を考える。	45分
15回	合同卒業プレゼンテーションでフィードバックされた箇所をディスカッション、及び修正。制作物の保管の仕方を検討し、破損しないように注意する。	予習：来期に向けて構想を考える。	45分

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

課題提出のフィードバックは、授業内で講評、解説し返却します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書 改定第3版、国家検定、商品装飾展示技能検定 学科編、実技編

■参考文献 なし

■オフィスアワー・研究室 オフィスアワーは、日野校舎B棟 B205 B101

■備考 なし

卒業制作企画(メディア表現(映像・ショープロデュース))

角倉 典彦・千代崎 寛・澤野 洋士

4年 前期 選択 (3単位 演習)

■授業の方針・概要

服飾表現学科映像・メディア専攻の卒業制作は、専攻分野で今まで学んだ知識やノウハウ、技術を駆使して、映像・メディア表現作品を具現化することである。見る人に制作者の意図や思いが伝わり、納得させる「作品」を制作する。前期はその準備段階として、製作プロセスを確認するためのグループ制作演習、リサーチと企画、具体的な撮影の準備を行う。また作品提出に伴う各種データやポートフォリオの作成に必要な2次元の編集技術も修得する。

■到達目標(学修成果)

作品制作のために、徹底した企画を練り、リサーチを繰り返し、企画書、構成台本、撮影プランなどの企画を構築できるトータルな映像制作能力を身につけ、同時に作品提案のプレゼンテーション能力も身につけることが目標である。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科メディア表現専攻の必修科目で卒業認定単位となる。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回	千代崎: ガイダンス/オリエンテーション 全体スケジュールの確認、個人面談①	予習: シラバスの確認 復習: 企画構想	60分
2回	千代崎: 個人企画案プレゼンテーション①、研究ノート作成 テーマ/コンセプト策定、企画編集技術①	予習: 卒業制作の方向性の再検討 復習: 研究ノート作成	60分
3回	角倉: 個人面談②、個人企画プレゼンテーション②、	予習: リサーチレポートの作成 復習: 研究ノート促成	60分
4回	澤野: グループ制作① グループ課題提示。企画検討、リサーチ。	復習: 企画案制作	120分
5回	澤野: グループ制作② 企画提案プレゼンテーション。撮影準備、ロケーションハンティング、撮影台本/香盤表作成	復習: 課題整理	60分
6回	千代崎: リサーチ結果のまとめによる個人企画プレゼンテーション③、研究ノート作成、 企画編集技術②	復習: 各自の課題整理	60分
7回	澤野: グループ制作③ 撮影、進捗状況チェック	復習: 追加撮影等	60分
8回	澤野: グループ制作④ 編集	復習: 編集作業	60分
9回	角倉: 個人面談③、個人企画プレゼンテーション④	復習: 各自の課題整理	60分
10回	澤野: グループ制作⑤ 完成作業、プレゼンテーションと講評	復習: 修正ポイントの確認と修正	60分
11回	千代崎: 個人面談④、企画進捗確認と講評、企画編集技術③	予習: 事前準備	60分
12回	角倉: 個人企画プレゼンテーション⑤、準備作業	予習: 事前準備 復習: 進捗状況の確認	60分
13回	千代崎: 服飾表現学科合同卒業企画プレゼンテーション準備	予習: 事前準備 復習: 進捗状況の確認	60分
14回	角倉・千代崎・澤野: 合同講評会 後期「卒業制作」へ向けた中間プレゼンテーション(5専攻全学生と担当教員による専攻を横断したディスカッション・フィードバック)	予習: 事前準備 復習: 進捗状況の確認	60分
15回	角倉: 前週の反省と前期のまとめ、進捗状況プレゼンテーション。夏季休暇中の制作プランの作成	予習: 反省事項の確認 復習: 夏季休暇中制作活動の確認	60分

※個人企画とグループ制作の枠組みを廃し映像系とショープロデュース系それぞれの卒業制作に向けた準備期間とする。内容に応じてショー演出専門家に助力を仰ぐ必要がある場合にピンポイントで担当を依頼する。前期の合同講評会(遅くとも後期の合同講評会時)にピークを迎えられるよう実践的なシラバスに変更する

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

提出物及びプレゼンテーションに関しては、授業内で講評やディスカッションを行いフィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内・課題提出(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書 必要に応じて、資料/プリントを適宜配布する。

■参考文献 各自のテーマにあわせて、その都度紹介する。

■オフィスアワー・研究室 初回授業で指示する。連絡: 教務課 研究室: 日野校舎 B105 映像・メディア表現研究室

■備考 作品企画の各自の進捗状況にあわせて、日程及び内容は変更することがある。

準備学習の必要時間は目安であって、各自の制作企画の進捗状況にあわせて必要な時間を確保すること。

卒業制作(衣装デザイン・制作)

大町 志津子・瀧川 美佐子

4年 後期 選択 (6単位 演習)

■授業の方針・概要

卒業制作に向けて、担当教員の欧米におけるオペラ、バレエ、映画等の衣装デザイナーのキャリアを活かした実践的なデザイン指導や、アパレルメーカーでのモデリスト、パタンナーとしての実務経験に基づく技術指導を元にこれまでの学修成果を踏まえ各自の研究対象を見定め衣装表現におけるより高度な知識、技術、感性を修得する。

■到達目標（学修成果）

テーマやデザインを研究する事で衣装表現者としての資質を得る事ができ、卒業制作において例えばスタジオでのライティング、背景の美術、ヘアメイク、スタイリングなどの考察を深め撮影を行い、独創的で説得力のあるトータルイメージを構築した衣装を表現できる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾表現学科の衣装デザイン専攻の必修科目で卒業認定単位となります。衣装表現者としての表現方法を学ぶ科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	大町、瀧川：夏休み課題の提出とプレゼンテーション。卒業制作に向けての各自の研究テーマの検討	予習：課題の完成 プレゼンテーション準備 復習：構想1に向けての考察	60分
2回	大町、瀧川：合同講評会：後期「卒業制作」へ向けた中間プレゼンテーション（5専攻全学生と担当教員による専攻を横断したディスカッション・フィードバック）	予習：合同講評会に向けての準備をする 復習：考察	60分
3回	大町：構想1 1回目個別デザイン相談 瀧川：作品A制作1	予習：構想1・制作1に向けての準備 復習：構想1・制作1を進める	60分
4回	大町：構想2 2回目個別デザイン相談 瀧川：作品A制作2	予習：構想2・制作2に向けての準備 復習：構想2・制作2を進める	60分
5回	大町：構想3 空間の中での衣装の認識・（スタジオ演習） 瀧川：作品A制作3	予習：構想3・制作3に向けての準備 復習：構想3・制作3を進める	60分
6回	大町：構想4 構想3に対するフィードバック 瀧川：作品A制作4	予習：構想4・制作4に向けての準備 復習：構想4・制作4を進める	60分
7回	大町：構想5 空間の中での衣装の認識・スタジオ演習 瀧川：作品A制作5（作品Aの修正）	予習：構想5・制作5に向けての準備 復習：構想5・制作5を進める	60分
8回	大町、瀧川：ディスカッション・プレゼンテーション 3回目個別デザイン相談	予習：プレゼンテーションの準備 復習：考察	60分
9回	大町：構想6 4回目個別デザイン相談 瀧川：作品B制作1	予習：構想6・制作1に向けての準備 復習：構想6・制作1を進める	60分
10回	大町：構想7 トータルイメージに向けての考察1 瀧川：作品B制作2	予習：構想7・制作2に向けての準備 復習：構想7・制作2を進める	60分
11回	大町：構想8 トータルイメージに向けての考察2 瀧川：作品B制作3	予習：構想8・制作3に向けての準備 復習：構想8・制作3を進める	60分
12回	大町、瀧川：各自モデルのメイクやヘアスタイルの検討、企画書制作（全作品）、ポートフォリオ作成における研究倫理について	予習：撮影企画書作成 復習：トータルイメージを深める	60分
13回	大町、瀧川：「カメラワーク、照明、背景」で衣装のトータルイメージを最終的に完成、モデルによる着装撮影	予習：撮影に向けての準備 復習：ポートフォリオ作成	60分
14回	大町、瀧川：卒業制作展示、プレゼンテーションに向けての準備 ポートフォリオ提出	予習：プレゼンテーションの準備 復習：プレゼンテーションの準備	60分
15回	大町、瀧川：プレゼンテーション・ディスカッション・講評	予習：プレゼンテーションの準備	60分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題作品・プレゼンテーションに対して随時講評を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	30%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書 必要に応じて資料を配布する。

■参考文献 Patterns of Fashion Janet Arnold 著 Women's Dress Patterns Susan North and Jenny Tirana 著

■オフィスアワー・研究室

日野校舎 B202 衣装表現研究室 オフィスアワー：第1回目の授業で指示する

■備考 進捗により日程及び内容を変更する場合もある。
感性を磨きより広い視野を持つ事を各自心がける。

卒業制作(スタイリング)

中村 のん・数井 靖子

4年 後期 選択 (6単位 演習)

■授業の方針・概要

スタイリストの仕事は、時代をいち早く読み取り、それをファッションに反映させ、ビジュアルを通して発信していくことが常に求められます。2年で学んだ時代や社会とファッションの関連性、3年で学んだ「人を魅力的に見せるフォトジェニックなスタイリング」を踏まえた上で、現在注目されているリユース、リサイクルの発想も取り入れ、「リユース、リメイクによるファンタスティックな世界」をテーマとして衣装制作とスタイリングを行い、3年で学んだ写真世界の知識を生かして撮影を行い、最終的にポスター制作を行います。また、ファッションに関連する個人的に興味のあるテーマを深掘りする形で年間かけて研究ノートを作成します。

■到達目標(学修成果)

2年、3年で学んだ知識の集大成として、「自分ならではの」個性を發揮した「ファンタスティックな世界」を作り上げることで社会に出てゆく上での自信に繋がります。また、言葉と作品を通して堂々とプレゼンできる自信と能力を身につけます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科のスタイリング専攻において卒業認定に必要な必修科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回	【中村・数井】衣装制作・研究ノートの進行状況をチェックしフィードバック「合同講評」に向けたプレゼンの練習	予習：作品衣装の制作 研究ノート作成 予習：「合同講評」に向けたプレゼン用の原稿作成	90分
2回	【中村・角倉・他】2回目「合同講評会」前期「合同講評会」からの中間のプレゼンテーション	準備：プレゼン用の資料作成	90分
3回	【中村・数井】「合同講評会」の結果を踏まえた上でディスカッションし、今後の制作に向けての検討	授業外でも制作を進める	90分
4回	【数井】衣装制作「研究ノート」の途中チェック、フィードバック	予習：研究ノートを進める 授業外でも制作を進める	90分
5回	【中村・数井】衣装制作。担当教員の実務経験による講義の下、モデル撮影をするにあたって、コンテ、ラフ等を作成しスタッフやスケジュールについて検討	予習：事前に下調べをして動きを決め、報告する 復習：進行表作成	90分
6回	【数井】衣装制作 進行表チェック 撮影イメージ資料チェック	準備：進行表作成 絵コンテ、ラフ等の作成	90分
7回	【中村・数井】撮影をイメージした上での衣装のチェック 【数井】「研究ノート」最終チェック	授業外でも制作を進める	180分
8回	【中村・数井】担当教員の実務経験を踏まえた指導の下、モデル撮影に向けた指導(撮影イメージ、ヘアメイク、ポーズ、香盤表等もチェック)	授業外でも制作を進める	180分
9回	【数井】衣装制作及び、ポートフォリオ作成に関する講義	復習：ポートフォリオ作成開始	90分
10回	【中村・数井】作品、及び、スタイリングチェック	準備：スタイリングに使用するアイテムを集める。イメージするヘアメイクの資料を集める。授業外でも制作を進める	180分
11回	【中村・数井】作品衣装、スタイリング、ブラッシュアップ		90分
12回	【中村・数井】担当教員の実務経験を踏まえた指導の下、卒業作品を着用したモデル撮影、及び、スタジオで作品撮影。	準備：撮影に必要なアイテム、メイク用品、及びスタッフにイメージを伝えるための資料を用意	90分
13回	【中村・数井】担当教員の実務経験を踏まえた上での指導の下、撮影した写真のセレクト及び、ポスター制作開始。	予習：スタイリング小物集め、撮影参考資料提出、モデル選定	180分
14回	【中村・数井】ポスター提出。研究ノート提出。ポートフォリオ提出。確認。	準備：ポスター制作 復習：プレゼンテーションの練習	90分
15回	【中村・数井】作品仕上げ、最終確認。卒業制作発表に向けたプレゼンテーションの練習。卒業制作発表に向けての効果的な展示方法等を検討する	予習：企画書の準備	90分

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

レポート・感想文等は翌週返却する。課題・作品は、返却時にフィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書 授業内容に合わせて授業担当者がプリントを作成して配布。学生は一冊のファイルにまとめる。

■参考文献

必要に応じて授業時に指示。授業担当者所蔵の写真集、書籍等を研究室に保管して、必要に応じて使用。

授業時に使用する映画のDVDや書籍に関して、図書館から借りる、購入する、レンタルする等に関しては、事前にタイトルを伝え準備する。学生に購入を求める場合もあります。

■オフィスアワー・研究室 オフィスアワー：授業初日に伝えます 研究室：日野校舎 B203

■備考

スタイリング演習Ⅲ修得者のみ履修可

リサーチやフィールドワークの内容により学外に出ることもあります。授業内容と関連のあるプロをゲストとして招く可能性もあります

卒業制作(ビジュアルマーチャンダイジング)

中島 ゆう子

4年 後期 選択 (6単位 演習)

■授業の方針・概要

卒業制作として、リアル店舗のウィンドウディスプレイを作成する。服飾表現科合同企画のプレゼンテーションにおいて教師からの意見を参考に修正を図る。ストーリー性を再度チェックし卒業制作の視点から充分納得がいく内容になったか再度確認する。計画と制作物の内容が合っているか確認し進行する。ディスプレイ小物は手作りし、卒業制作として完成度を高める。将来、ファッション界で適応できる能力と技術がある人材をつくる。授業担当者のファッション・プロデューサーとしての実務にも触れながら授業を実施します。

■到達目標 (学修成果)

店頭、ショーウィンドウなど実務として、企画立案、製作ができるようになる。売上げアップにさせる話題性の作り方、フェア催事、セールの開催の仕方、新しい売り場の組み立て方などプロとして売り場運営に必要な技術を修得する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科「ビジュアルマーチャンダイジング」専攻の科目で卒業認定単位となる。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回	第2回のプレゼンテーションに向け準備。パワーポイントなどを活用しプレゼン資料を作成。	予習：プレゼン資料の準備	45分
2回	服飾表現学科合同企画からの中間プレゼンテーション。(5専攻全学生と担当教員による選考)を横断したディスカッション・フィードバック。	予習：マップに使用する足りない資料を集める。	45分
3回	合同プレゼンテーションから出された事項を確認し、ミーティングの実施。修正箇所を確認し卒業制作を見直す。	復習：VP計画書を作成するための資料収集。	45分
4回	卒業制作用、VP計画書作成。店内VPスペースやウィンドウディスプレイに向け、イメージをイラストにて作成。	予習：VPイラストの完成に向けて、資料収集。	45分
5回	卒業制作用の研究ノートの見直し、修正。 *修正しない場合は、前倒しでPOPやポスターを作成。	予習：前期で完成させた研究ノートの見直し、修正。	45分
6回	VP用、小物の最終制作。POP、ポスター、パンフレットの作成含む。	予習：VPで使用するポップやポスターに使う資料を事前に準備する。	45分
7回	卒業制作①店内VPスペース、ウィンドウディスプレイ作成。壁面、床材の決定。及び制作。	予習：空間スペースをどのようにするか資料を集める。	45分
8回	卒業制作②店内VPスペース、ウィンドウディスプレイ制作。マネキンに服を着せる。ベルト、帽子、靴、バッグなどのコーディネート。	予習：服、ファッション雑貨の用意。	45分
9回	卒業制作③店内VPスペース、ウィンドウディスプレイ作成。手作りディスプレイ小物の作成。	予習：ディスプレイ小物の準備。	45分
10回	卒業制作④店内VPスペース、ウィンドウディスプレイ作成。什器の用意。ラック、棚、テーブル、椅子などを飾る。	予習：什器を調べ、手配する準備。	45分
11回	卒業制作⑤店内VPスペース、ウィンドウディスプレイの作成。VP小物の作成。手作り小物の完成度を上げる。	予習：VP小物用品の買い足しを含めすべての事項をチェックする。	45分
12回	卒業制作⑥ウィンドウディスプレイの組立て。手作り小物の完成度を上げる。	予習：間に合わなかったVP小物を自宅で制作。	45分
13回	卒業制作⑦作品の最終チェック及び研究ノート、ポートフォリオの最終チェック。修正の指示。足りないもの、必要な物を再確認する。	予習：足りないもの、買い足しなどの準備。	45分
14回	卒業制作⑧すべての制作物を飾り付ける。研究ノートのチェック。修正箇所のディスカッション、及び修正。	予習：卒展に向けての準備。	45分
15回	卒業制作⑨最終手直し、完成を目指す。	予習：卒展に向けての準備。	45分

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題提出のフィードバックは、授業内で評価、解説します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

改正版第3版 国家検定 商品装飾展示技能検定 学科編 実技編 著書：日本ビジュアルマーチャンダイジング協会

■参考文献 なし

■オフィスアワー・研究室 オフィスアワーは、日野校舎B棟 B205 B101

■備考 なし

卒業制作(メディア表現(映像・ショープロデュース))

角倉 典彦・千代崎 寛・澤野 洋士

4年 後期 選択 (6単位 演習)

■授業の方針・概要

服飾表現学科映像・メディア専攻の卒業制作は、今まで学んで得た知識やノウハウ、技術を駆使して、各自が選んだテーマをメディア表現作品として具現化することである。特に見せ方の工夫が大切。作品展示や動画の上映、配信はもとより、発表方法を各自が考え実行する。見る人に制作者の意図や思いが伝わり、納得させるための表現方法を考え、概念的なものも含め具現化することがミッションである。後期は各自のテーマ・コンセプトに沿った「メディア表現作品」を各自が選んだ制作方法で完成させる。また作品ポートフォリオや、解説カタログなどの作成も作品の一部とする。

■到達目標(学修成果)

映像制作の全工程に携わることにより、プロとしての基本的な映像制作のノウハウの取得が可能となる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科メディア表現専攻の必修科目で卒業認定単位となる。

■授業計画

週数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
第1週	角倉: 進捗状況プレゼンテーション 個人面談①	予習: 後期の制作計画の確認 復習: 進捗状況の確認	60分
第2週	角倉・千代崎・澤野: 合同講評会 前期「合同講評会」からの中間プレゼンテーション(5専攻全学生と担当教員による専攻を横断したディスカッション・フィードバック)	予習: 中間制作レポートの作成	60分
第3週	澤野: 追加撮影、構成確認、個人面談②	予習: 撮影進捗状況の確認 復習: 追加取材/撮影計画の確認	60分
第4週	澤野: オフライン編集①	予習: 事前準備 復習: 進捗状況の確認	60分
第5週	澤野: オフライン編集②	予習: 事前準備 復習: 進捗状況の確認	60分
第6週	千代崎: 作品ポートフォリオ、解説カタログ制作準備	予習: 事前準備 復習: 進捗状況の確認	60分
第7週	角倉・澤野: オフライン試写 個人面談③ 修正	復習: 問題点の整理	60分
第8週	千代崎: 作品ポートフォリオ、解説カタログ制作	予習: 事前準備 復習: 各自の課題整理	60分
第9週	澤野: カラコレ調整 テロップ入れ、絵完パケ試写	復習: 完成原稿の作成	60分
第10週	角倉: ポストプロダクションにてMA ナレーション/音楽/SE録音、完パケ試写	復習: 事前候補選択	60分
第11週	角倉・澤野: 直し編集 最終試写 メディアコピー	予習: 事前準備 復習: 修正ポイントの確認	60分
第12週	千代崎: 作品ポートフォリオ、解説カタログ制作	予習: 事前準備 復習: 進捗状況の確認	60分
第13週	千代崎: 作品ポートフォリオ、解説カタログ制作	予習: 事前準備 復習: 映像展示の最終確認	60分
第14週	角倉・千代崎・澤野: 作品ポートフォリオ、解説カタログ制作。プレゼンテーション準備	予習: 完成台本の作成 復習: 提出物の最終確認	60分
第15週	角倉・千代崎・澤野: プレゼンテーション 外部評価 講評 まとめ	予習: プレゼンテーションの準備	30分

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

提出物及びプレゼンテーションに関しては、授業内で講評やディスカッションを行いフィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書 必要に応じて、資料/プリントを適宜配布する。

■参考文献 各自のテーマにあわせて、その都度紹介する。

■オフィスアワー・研究室

初回授業で指示する。連絡: 教務課 研究室: 日野校舎 B105 映像・メディア表現研究室

■備考

作品企画の各自の進捗状況にあわせて、日程及び内容は変更することがある。2月の卒業制作発表期間に、上映展示とプレゼンテーション形式で制作企画/経緯を発表し、ポートフォリオ、解説カタログと作品のデジタルコピーを提出する。

言語と服飾文化

北澤茉奈・安部 智子

4年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

服飾文化に関する題材を英語で読むことにより、その知識を深めるとともに、英文で書かれた内容を素早く正確に理解するための練習をします。内容は、1940～1950年代のパリ・オートクチュール (Christian Dior と Cristobal Balenciaga) についてのアカデミックな英語 (解説文) を扱い、語学としての英語と服飾文化の両方にフォーカスします。授業は、学生それぞれの英文解釈に対するフィードバックおよび解説、服飾に関する講義の形式で進めます。英文解釈は授業内に提出し、プロジェクターに投影する形で皆に共有します。授業毎に復習テストを実施し、前回内容と関連させながら新たな範囲を読み解いていきます。

■到達目標 (学修成果)

1. 英語で書かれた文章の構造を理解し、求められた情報を素早く見つけ正確に理解することができるようになる、2. 辞書や検索の結果から得た情報を自分の言葉でまとめ発信することができるようになる、3. パリ・オートクチュールについての知識を増やす、の3点です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (国際関係)・選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としての言語と服飾文化は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることを目指しています。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回	イントロダクション 課題の詳細説明	予習：シラバスを読む。復習：授業のタスクについて流れを整理する。	30-60分
2回	ディオールとバレンシアガについて	予習：テキストに目を通す。復習：復習テストに備える。	30-60分
3回	ディオールの生い立ちとデザイナーとしての初期	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	30-60分
4回	バレンシアガの生い立ちとデザイナーとしての初期	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	30-60分
5回	ディオールの性格・信念・デザインへのアプローチ	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	30-60分
6回	バレンシアガの性格・信念・デザインへのアプローチ	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	30-60分
7回	ディオールとバレンシアガのデザイン・スピリット	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	30-60分
8回	ディオールとバレンシアガの制作プロセス	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	30-60分
9回	バレンシアガのカッティングと構造	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	30-60分
10回	ディオールのカッティングと構造	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	30-60分
11回	バレンシアガのフォルム	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	30-60分
12回	ディオールとバレンシアガの代表的ライン	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	30-60分
13回	ディオールとバレンシアガのディテール	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	30-60分
14回	まとめ	予習：これまでの授業内容を振り返る。	30-60分
15回	講評	復習：これまでの授業内容を振り返る。	30-60分

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

復習テスト、英文解釈は授業内で採点・解説を行います。まとめのテストは採点し返却を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%	
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	70%	復習テスト、授業内課題 (英文解釈) の提出
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	0%	
外部評価・検定試験結果	0%	

■教科書 Claire Wilcox 編 The Golden Age of Couture: Paris and London 1947-57 (V&A Publications)より

第6章 Dior and Balenciaga: A Different Approach to the Body (pp. 138-154)

■参考文献 必要があれば指示します。

■オフィスアワー・研究室 オフィスアワー：第1回目の授業で提示します。

連絡研究室：英語研究室 (研究棟3階 6034)・服飾造形研究室 (研究棟3階 6033)

■備考 テキストは、大型本のためコピーを用意します。

博物館実習

落合 広倫

4年 通年 学芸員課程必修 (3単位 実習)

■授業の方針・概要

学芸員資格課程で学んだ知識をもとに、実際の博物館実務に必要な技術習得を目的とする。また、学外調査および実習旅行を行い、博物館を取り巻く現状と課題を把握するとともに、学芸員を目指す上での資質向上を目指す。

■到達目標（学修成果）

博物館実務に関する知識・技術の習得

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法）のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき博物館に関する科目の単位の一つ。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション（博物館実習の概要説明・授業計画）	予習：シラバス確認	15分
2回	グループワーク（博物館の展覧会を企画する）	予習：プレゼンテーション準備	15分
3回	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	15分
4回	拓本用墨作成	予習：調査 準備	15分
5回	グループワーク（ミュージアムグッズを考える）	予習：プレゼンテーション準備	15分
6回	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	15分
7回	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	15分
8回	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	15分
9回	2次資料作成（拓本をとる）	復習：実習内容 振り返り	15分
10回	2次資料作成（拓本をとる）	復習：実習内容 振り返り	15分
11回	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	15分
12回	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	15分
13回	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	15分
14回	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	15分
15回	実習旅行準備、前期まとめ	予習：調査準備	15分
16回	実習旅行報告会準備	予習：発表準備	15分
17回	実習旅行報告会準備	予習：発表準備	15分
18回	実習旅行報告会準備	予習：発表準備	15分
19回	実習旅行報告会	復習：報告会 振り返り	15分
20回	2次資料作成（裏打ち）	復習：実習内容 振り返り	15分
21回	2次資料作成（裏打ち）	復習：実習内容 振り返り	15分
22回	2次資料作成（額装仕立て）	復習：実習内容 振り返り	15分
23回	グループワーク（博物館ワークショップを考える）	予習：調査 準備	15分
24回	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	15分
25回	資料取扱（紙資料）	復習：実習内容 振り返り	15分
26回	資料取扱（金工品）	復習：実習内容 振り返り	15分
27回	資料の梱包方法	復習：実習内容 振り返り	15分
28回	資料の保存方法（脱酸素処理）	復習：実習内容 振り返り	15分
29回	資料の修復方法	復習：実習内容 振り返り	15分
30回	まとめ・実習室清掃	復習：振り返り（まとめ）	15分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

製作物・技術習得についての講評

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

随時紹介、内容に即した資料を配布します。

■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

連絡：大学校舎講師控え室 又は 教務課（本校舎1階）

出講日：土曜日

■備考 なし